

B-RTO(バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術)を受ける患者さんへ



患者名	様 主治医				担当看護師				
経過	入院日(治療前日)	治療当日(治療前)	治療当日(治療後)	治療後1日目	治療後2日目	治療後3日目	治療後4日目	治療後5日目(退院)	
日付	/	/		/	/	/	/	～	
患者の 達成目標	・ 治療の目的を理解 できる	・ 治療を安全に受けるこ とができる	・ 血圧、脈拍、呼吸が安定し ている	・ 嘔吐、腹痛がない ・ 発熱があってもコントロール できる ・ 穿刺部に出血がない	・ 悪心、嘔吐、腹痛なく過ごすことができる			・ 日常生活の注意 点について理解 できる	
治療 処置	・ 鼠径部の剃毛を行 います	・ 病衣に着替えます ・ 点滴をします ・ 尿管を挿入します ・ 治療室にはストレッチャー で行きます	・ 治療からシース(治療用の 管)が入ったまま病室に 戻ってきます ・ 治療終了後2時間までは、 30分毎に血圧を測ります その後2時間は、60分毎 に血圧を測ります 	・ 午前中にシース(治療用の 管)から造影し、追加治療が なければシースを抜去します ストレッチャーで透視室に行 きます ・ 安静解除後、尿の管を抜き ます ・ 抗生剤を投与後輸液を終了 します					
検査				・ 採血があります 					
薬剤	・ 普段使っている飲み 薬、塗り薬、貼り薬、 水薬、目薬を確認し ます(病院で同じ薬 をすぐに用意できな い場合があります)	・ 治療当日の内服薬は、別途ご説明します							
食事	・ 制限はありません	・ 朝食は、通常通り食べら れます ・ 昼食から絶食です 	・ 検査終了後から水分摂取 できます	・ 造影検査で問題なければ、食 事ができます 					
安静・活動	・ 制限はありません	・ 制限ありません (なるべく安静にして下さ い)	・ シース(治療用の管)が足 の付け根に入っているた め、ベッド上安静で穿刺足 は下肢屈曲不可です。穿 刺していない足は、検査 終了4時間後から屈曲で きます	・ シース(治療用の管)を抜去 後、一定時間はベッド上安静 です 安静時間は、抜去後説明しま す					
排泄	・ 制限はありません	・ 尿管を入れます	・ ベッド上安静です (横向きもできません)	・ シース(治療用の管)を抜去 するまでは、ベッド上安静で す					
清潔	・ シャワー浴できます	・ シャワー浴できません		・ 体を拭きます 	・ 穿刺部に異常がなければ、シャワー浴できます				
患者 家族 への説明	・ 同意書を提出してく ださい ・ 転倒、転落に注意し てください	・ 治療に行く前に金属(時 計、指輪、ネックレス、めが ね、コンタクトなど)を外し てください	・ 発熱、疼痛、吐き気など症状がありましたら伝えて下さい						

※ この予定表はあくまでもおおよその目安です。個々の身体能力、体調等により経過は様々です。この表より達成が遅れると治りが悪いということではありません。

※ ご不明な点はお気軽にスタッフにおたずねください。

2025年09月 改訂